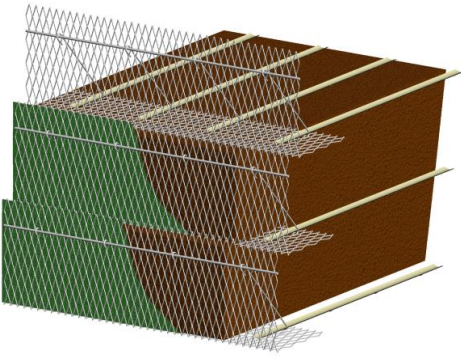

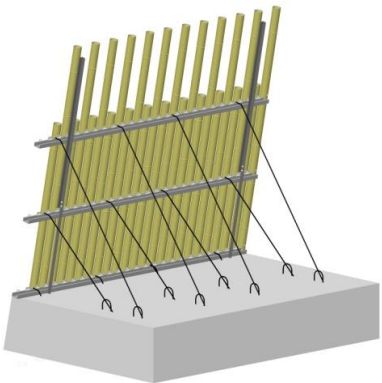



<p>技術・商品の名称</p>	<p>竹補強土壁</p>
<p>技術・商品の概要及び特徴</p>	<p>エキスパンドメタルの壁面材と割竹の補強材を組み合わせた摩擦抵抗式補強土壁。割竹は事前に燻して防虫処理することで耐久性を向上させている。</p> <p>【特徴】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 竹補強材を鋼製壁面材ユニット高0.6mごとに敷設した補強土壁である ・ 使用部材は軽量で人力運搬が可能、組立・設置が容易である ・ 補強材に竹を使用したことでジオテキスタイルといった人工材料を使用する既存工法に比べ格段に安価となる
<p>適用範囲・用途</p>	<p>道路や敷地造成などの盛土を支える擁壁として、片盛土、両面盛土、のり留め等に用いる</p>
<p>その他 (製造方法等)</p>	
<p>工業所有権等</p>	<p>特許・実用新案・商標登録等の排他的権利の有無</p> <p>【申請準備中】</p>
<p>写真、グラフ、 模式図等</p>	 
<p>連絡先</p>	<p>共生機構株式会社 福岡営業所</p> <p>住所: 〒 812-0016 福岡県福岡市博多区博多駅南4-9-1</p> <p>電話: 092-432-7818</p> <p>E-Mail: t-sasaki@kyosei-kk.co.jp</p> <p>URL: http://www.kyosei-kk.co.jp</p>

<p>技術・商品の名称</p>	<p>竹林立フォームレス</p>
<p>技術・商品の概要及び特徴</p>	<p>コンクリート構造物の施工型枠をそのまま表面部に残置する型枠工法。 竹材をタテに間隔をあけて配置し、軽量の形鋼にクランク座金とフックボルトを用いて取り付けられたコンクリート残存型枠。</p> <p>【特徴】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 一般型枠より低コストである ・ 組立て設置の作業性・安全性に優れている ・ タテ置きのため、曲線に合わせて組立が可能である ・ 内側に透水性と強さのある漏れ防止材を張り付けるので余剰水が排出されコンクリートの品質向上が図れる ・ 竹材は間隔をあけて配置するため、連子格子風の景観となる
<p>適用範囲・用途</p>	<p>砂防ダム・堰堤等のコンクリート構造物を施工する際に使用</p>
<p>その他 (製造方法等)</p>	
<p>工業所有権等</p>	<p>特許・実用新案・商標登録等の排他的権利の有無</p> <p>【申請準備中】</p>
<p>写真、グラフ、 模式図等</p>	<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;">  <p>構造図</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>完成イメージ図</p> </div> </div>
<p>連絡先</p>	<p>共生機構株式会社 福岡営業所</p> <p>住所: 〒 812-0016 福岡県福岡市博多区博多駅南4-9-1</p> <p>電話: 092-432-7818</p> <p>E-Mail: t-sasaki@kyosei-kk.co.jp</p> <p>URL: http://www.kyosei-kk.co.jp</p>